



Air Cargo World 誌『2013 Air Cargo Excellence Survey』

関西国際空港が 8 年連続の受賞！

大手航空貨物専門誌『Air Cargo World』が行った『2013 Air Cargo Excellence Survey』にて、関西国際空港はアジア地域（年間貨物取扱量40万ト以上100万ト未満部門）において、8年連続の受賞となりました。

今回の総合評価（121点）は、関西空港にとって過去最高得点であり、関西空港の評価が年々上昇していることがわかります。特にPerformanceとRegulatory Operationsへの評価が高く、物流事業者の皆様、官公庁の皆様のお力により、このような高い評価をいただけていることがわかります。

『2013 Air Cargo Excellence Survey』の評価結果

アジア地域（年間貨物取扱量40万ト以上100万ト未満部門）

第 1 位 (-)	シドニー国際空港	1 2 3 点	
第 2 位 (1)	関西国際空港	1 2 1 点	
第 3 位 (3)	羽田空港	1 1 9 点	
第 4 位 (4)	深圳宝安国際空港	9 8 点	
第 5 位 (2)	クアラルンプール国際空港	9 6 点	

（カッコは昨年順位）

【関西国際空港の評価推移】

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
Performance	104	113	110	107	94	110	125	123
Value	107	104	109	106	104	105	102	117
Facilities	107	107	108	111	99	115	121	121
Regulatory Operations	109	113	110	110	112	111	120	125
Overall	102	109	109	108.4	102	110	117	121

Performance : 運用面、ハンドリング面、サービス面

Value : 料金面、付加価値面

Facilities : 施設面（エプロン、上屋、生鮮設備等）、アクセス面（高速道路、鉄道等）

Regulatory Operations : 税関、セキュリティ等、官公庁の手続き面

※ 『Air Cargo World』

世界百数十カ国・地域の貨物航空会社や貨物事業者、荷主等に広く購読されている英国 UBM Aviation 発行の大手航空貨物専門誌。1942 年創刊。発行部数は約 24, 000 部／号 <http://www.aircargoworld.com/>

※ 『Air Cargo Excellence Survey』

『Air Cargo World』読者アンケートにより、サービス・施設・通関・セキュリティ等の各分野別評価、及びこれらの総合評価がおこなわれ、地域別、空港規模別に優秀な空港には『The Air Cargo Excellence Award』が授与される。全世界を対象とした調査は 2006 年より実施（今回 8 回目）。

<http://www.aircargoworld.com/Air-Cargo-Excellence/Survey-Results>



『Air Cargo Excellence Survey』 受賞について

【2013年の結果】（※アジア地域における貨物取扱量40万トン～100万トン未満のカテゴリー）

	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. シドニー国際空港	121	122	124	123	123
2. 関西空港	123	117	121	125	121
3. 羽田空港	118	118	120	120	119
4. 深圳宝安国際空港	96	99	100	97	98
5. クアラルンプール国際空港	95	100	95	94	96

【過去の結果】

（※アジア地域における貨物取扱量40万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2012年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 関西空港	125	102	121	120	117
2. クアラルンプール国際空港	111	116	112	115	114
3. 羽田空港	109	101	110	121	110
4. 深圳宝安国際空港	107	106	117	98	107
5. 那覇空港	108	100	94	105	102

（※アジア地域における貨物取扱量30万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2011年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 関西空港	110	105	115	111	110
2. クアラルンプール国際空港	107	114	111	108	110
3. 上海虹橋国際空港	98	105	104	105	103
4. 広州白雲国際空港	104	103	108	98	103
5. 深圳宝安国際空港	93	93	98	104	97

（※アジア地域における貨物取扱量50万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2010年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 羽田空港	126	96	102	113	110
2. 深圳宝安国際空港	103	124	102	99	107
3. 関西空港	94	104	99	112	102

（※アジア地域における貨物取扱量50万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2009年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 関西空港	107	106	111	110	108.4
2. 羽田空港	111	110	96	106	105.5
3. 広州白雲国際空港	100	101	107	101	102.0
4. クアラルンプール国際空港	99	101	107	100	101.9
5. 深圳宝安国際空港	93	97	98	103	97.8

（※アジア地域における貨物取扱量50万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2008年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 関西空港	110	109	108	110	109
2. 深圳宝安国際空港	106	110	106	108	108
3. 羽田空港	106	98	100	99	101
4. クアラルンプール国際空港	98	96	100	99	98
5. 広州白雲国際空港	93	95	91	90	92

（※アジア地域における貨物取扱量50万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2007年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 関西空港	113	104	107	113	109
2. 羽田空港	99	101	100	104	101
3. 北京首都国際空港	101	104	100	99	101
4. 広州白雲国際空港	97	101	99	92	97
5. クアラルンプール国際空港	89	89	93	93	91

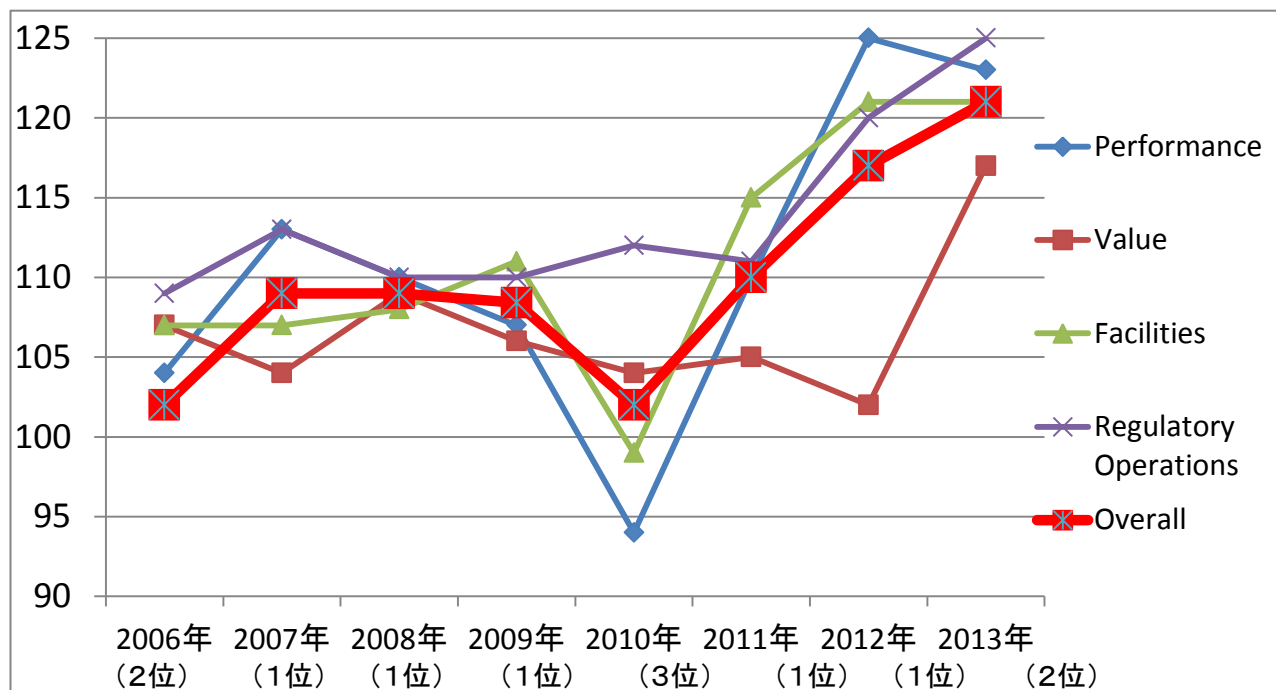
（※アジア地域における貨物取扱量50万トン～100万トン未満のカテゴリー）

2006年	Performance	Value	Facilities	Regulatory Operations	総合評価
1. 羽田空港	106	101	101	108	107
2. 関西空港	104	107	107	109	102
3. 広州白雲国際空港	99	100	100	97	101
4. クアラルンプール国際空港	96	94	94	95	96
5. 北京首都国際空港	96	97	97	92	95

(参考) 各項目の内容

Performance	運用面、ハンドリング面、サービス面
Value	料金面、付加価値面
Facilities	施設面(エプロン、上屋、生鮮設備等)、アクセス面(高速道路、鉄道等)
Regulatory Operations	税関、セキュリティ等、官公庁の手続き面

【関西空港の各項目評価の推移】



【関空の評価分析】

- ・関西空港は、8年連続での受賞である。
- ・総合評価(点数)は2013年(121点)が過去最高となっており、関西空港の評価が年々上昇していることがわかる。2010年に運用面(Performance)と施設面(Facilities)の評価が一時的に低下した理由として、不況の影響により人員削減や施設縮小などがあったことが考えられる。
- ・2013年結果では、運用面、施設面、官公庁の手続きやセキュリティ面において非常に高い評価を頂いている。特に2011年以降の施設面の高評価は、2010年9月にオープンした医薬品専用共同定温庫(KIX-Medica)によるものと考えられる。